

永青文庫

文京区目白台にある、日本・東洋の古美術を中心とした美術館である。旧細川藩主細川家伝来の美術品、歴史資料や16代当主細川護立の蒐集品などを収蔵(国宝8点を含み、約11万2000点)し、展示、研究を行っている。今回は、熊本大学永青文庫研究センター設立10周年記念「細川家と「天下泰平一関ヶ原からの40年」」展の資料、美術品を学芸員解説付きで鑑賞する。

講談社 野間記念館

講談社創業90周年事業の一環として2000年4月に目白に設立された。講談社の創業者・野間清治が、大正期から昭和初期にかけて収集した美術品を主体とする「野間コレクション」が展示されている。今回は、「川合玉堂と東京画壇の画家たち」(鏑木清方、川端龍子、松岡映丘等)展を学芸員解説付きで鑑賞する。214点の作品の中でも、玉堂、龍子、映丘等著名な画家による、四季の花と緑が描かれた・色紙「十二ヶ月図」は、見応えがあり、楽しめる。

(以上 美術鑑賞会世話人 一條保子)

肥後細川庭園

肥後細川庭園は、平成 23 年 9 月 27 日に「目白界隈の隠れ名園巡り」と題して当時新江戸川庭園と称していた頃訪ねたことがあります。

その時は、庭内にあった学問所として建てられた松聲閣も修復がされてなく、見学もできませんでした。今回は建てられた明治時代の様子が復元され永青文庫のご好意によるガイド付きで内部の各部屋も見学できることになりました。

目白台地が神田川に落ち込む傾斜地を活かした池泉回遊式庭園もすっかり整備され 9 月当時とは異なり、今回はヤマモミジやハゼノキの紅葉や 5 本のマツに雪吊りが施され晩秋から冬の大名庭園の雄大な景色が楽しめます。

(以上 花と緑の会世話人 永坂和也)





永青文庫